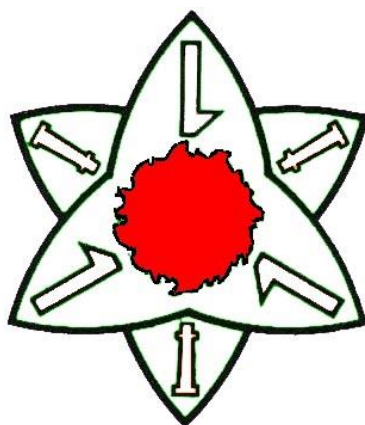


平成30年

# 救急・救助統計



安全と安心のまちづくり

火事と救急・救助は119番

消防テレホンサービス 22-9944  
(火災情報・休日診療情報)

酒田地区広域行政組合

## 目 次

1	はじめに-----	1
2	救急の概要-----	1
3	高度処置救急隊の救命処置状況-----	1
4	応急手当普及啓発活動の状況-----	1
5	消防隊等の救急活動支援の状況-----	2
6	ドクターヘリ運航状況-----	2
7	救助の概要-----	2

## 救急資料

1	月ごとの出動件数及び搬送人員-----	3
2	市町別の救急出動件数及び搬送人員-----	4
3	年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員-----	5
4	重症度別の搬送人員-----	6
5	救急出動件数及び搬送人員の推移-----	6
6	事故種別ごとの出動件数の推移-----	7
7	主な事故種別の推移-----	7
8	曜日別の出動件数-----	8
9	覚知時刻別の出動件数-----	8
10	現場到着所要時間別の出動件数-----	9
11	収容所要時間別の搬送人員-----	9
12	医療機関別の搬送人員-----	10
13	救急隊員が行った応急処置-----	11
14	消防職員の救急隊員資格の取得状況-----	12
15	特定行為の実施状況-----	12
16	応急手当普及啓発活動の実施状況-----	13
17	消防隊等による救急活動支援の状況-----	14

## 救助資料

18	事故種別救助活動の状況-----	15
19	月別の救助出動の状況-----	16
20	市町別の救助出動の状況-----	17
21	曜日別救助出動の状況-----	17
22	交通事故における要救助者の重症度の状況-----	18
23	組合管内へのヘリコプター出動状況-----	18
24	消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）-----	19

## 1 はじめに

この統計は、平成30年（1月～12月）の酒田地区広域行政組合管内における救急・救助業務の実態を調査分析し、今後における円滑な業務の推進と救命率の向上を図るとともに、住民の皆様からご理解とご協力をいただくために作成しました。

## 2 救急の概要

平成30年中における救急出動件数は5,974件で、前年に比べ356件の増加となりました。1日の平均出動は16.4件で、また、搬送人員は5,596人で前年に比べると290人増加しました。

事故種別ごとにみてみますと、急病が293件、一般負傷が78件増加、交通事故が23件、転院搬送が13件減少しました。そのほかの種別は、前年並みの件数で推移しています。

年齢区分別の搬送人員は、65歳以上の方が4,063人で全体の72.6%を占め、昨年（70.8%）より増加し、搬送人員の大半を占めています。

重症度別の搬送人員は、「死亡」以外の搬送者が昨年より増加し、「軽症」と「中等症」で全体の87.4%を占めています。

過去10年間の救急出動件数をみると、平成23年までは右肩上がり推移、平成24年から減少傾向に転じていましたが、平成30年は前年より増加しています。

## 3 高度処置救急隊の救命処置状況

心肺機能停止状態に陥った方は203人で前年より減少しました。そのうち救急救命士が行う高度な救命処置（器具を用いた気道確保・静脈路確保及び薬剤投与）を施した件数は316件で前年より27件増加しました。

また、平成27年1月から実施された心肺機能停止前の静脈路確保人員は100人で前年より4人減少し、低血糖発作症例へのブドウ糖投与人員が15人で前年より12人減少しました。

## 4 応急手当普及啓発活動の状況

応急手当講習会の開催回数と受講者数は、救命入門コース（90分）64回1,700人、普通救命講習Ⅰ（3時間）53回980人、普通救命講習Ⅱ（4時間）1回12人、普通救命講習Ⅲ（3時間）5回78人、上級救命講習（8時間）2回50人、普及員講習（8時間）2回16人、普及員再講習（3時間）3回71人、指導員講習1回11人、指導員再講習（3時間）3回4人の合計2,922人が受講し、前年に比べ904人減少しました。

全体の受講者数は減少しましたが、上級救命講習、普及員講習といった、より内容の充実した講習会の受講者数が増加しました。

今後も救命率、社会復帰率の向上を目指し、多くの皆様から応急手当を身につけていただくため関係機関との連携を図り、応急手当講習会の開催を積極的に推進していきます。

また、小学生、中学生、高校生及び大学生に対しても生涯学習の一環として、応急手当講習会受講を呼び掛け、「救命の連鎖」「予防救急の重要性」「命

の大切さ」を訴え、進んで応急手当ができるよう普及啓発に努めていきます。

## 5 消防隊等の救急活動支援の状況

P A連携とは、ポンプ車 (Pumper) 及び救急車 (Ambulance) が同時に出動することで、双方の頭文字から「P A」といい、消防隊と救急隊が連携して傷病者の救出・救護処置を迅速かつ確実に実施することを目的としています。

例えば、心肺機能が停止した傷病者に対応する場合、現場で高度な救命処置を行うため、多くの救急資器材が必要となって収容に時間を要します。また、高層階、階段・通路が狭いところから傷病者を収容する場合も救急隊員だけでは多くの時間を要します。そのため、救急通報段階で必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車を同時に出動させています。

なお、平成30年中のP A連携出動件数は446件で、前年に比べ1件増加しました。

## 6 ドクターヘリ運行状況

平成30年中においてドクターヘリを要請した件数は19件で、その内実際に出動したのは15件で、天候不良やキャンセル等で途中引き揚げしたものが3件あり、実際に現場まで出動し搬送した件数は12件ありました。

現場まで出動したドクターヘリの内訳は、山形県ドクターヘリ12件、他県のドクターヘリの出動はありませんでした。市町別の内訳では、酒田市10件、庄内町2件、遊佐町0件となります。

## 7 救助の概要

平成30年中における救助出動件数は64件(前年56件)で、前年より8件増加しました。事故種別の内訳として、交通事故が全出動件数のうち半数以上となる37件(57.8%)、その他の事故が12件(18.8%)で、その他の事故に含まれる山岳事故が5件でありました。次いで建物等による事故が6件(9.4%)、水難事故が5件(7.8%)、火災が2件(3.1%)、機械による事故が2件(3.1%)でした。

前年と比較して、増加したのは交通事故、機械による事故で、水難事故、山岳事故を除くその他の事故は増減無しで、他の種別は全て減少しました。

救助した人員については39人で前年より5人減少しました。また、組合管内に山岳救助及び、捜索の目的でヘリコプターが出動した件数は9件で、その内訳は山形県消防防災航空隊が5件、山形県警察航空隊が4件でした。

1 月ごとの出動件数及び搬送人員

(件、人)

月 別	年 別	救 急 事 故 種 別												合 計		
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送		資 器 材 輸 送	そ の 他
1	平成 30年	1			25 (23)	6 (6)	2 (2)	83 (79)	4 (2)	5 (2)	381 (357)	34 (34)	1		6 (1)	548 (506)
	平成 29年	1 (1)		1 (1)	30 (29)	2 (2)		75 (72)		2 (1)	354 (327)	29 (29)			5 (1)	499 (463)
2	平成 30年	1		1	19 (18)	4 (4)	1 (1)	82 (74)		2 (1)	382 (360)	34 (34)			8	534 (492)
	平成 29年	2 (1)			23 (23)	3 (3)		60 (55)		3 (1)	320 (301)	25 (25)			3	439 (409)
3	平成 30年	6 (1)			16 (14)	3 (3)	2 (2)	67 (64)	1 (1)	3 (3)	356 (336)	35 (35)	1		4	494 (459)
	平成 29年	4		1 (1)	18 (20)	1 (1)	1 (1)	60 (59)	1 (1)	5 (3)	301 (284)	39 (39)			1	431 (409)
4	平成 30年	2			27 (29)		3 (3)	79 (76)	1	2 (2)	323 (301)	32 (32)			8 (1)	477 (444)
	平成 29年	7 (2)		1 (1)	18 (17)	3 (3)	2 (2)	69 (68)	1 (1)	4 (1)	286 (267)	37 (37)			5	433 (399)
5	平成 30年	3 (2)			29 (30)	3 (3)	1 (1)	71 (70)		2 (2)	324 (309)	35 (35)	1		5 (1)	474 (453)
	平成 29年	4 (1)		1 (1)	32 (28)	4 (4)	4 (4)	55 (53)		7 (3)	287 (275)	31 (31)			4 (2)	429 (402)
6	平成 30年	3 (4)			36 (34)	2 (2)	4 (4)	87 (83)	1 (1)	2 (1)	299 (287)	30 (30)			2	466 (446)
	平成 29年	1 (1)		1	23 (23)	1 (1)	7 (7)	75 (73)		3 (3)	293 (287)	35 (35)			4 (1)	443 (431)
7	平成 30年	4			33 (32)	7 (8)	6 (6)	56 (54)	2 (2)	8 (7)	345 (330)	44 (43)	1		6	512 (482)
	平成 29年	1		3 (1)	30 (34)	8 (8)	8 (8)	57 (56)	2 (2)	4 (3)	342 (325)	39 (39)			1	495 (476)
8	平成 30年	3		1	27 (29)	5 (5)	5 (5)	89 (83)	4 (5)	4 (3)	390 (373)	29 (29)			5	562 (532)
	平成 29年	9 (1)		1	39 (43)	4 (4)	4 (4)	79 (75)	3 (3)	2 (2)	351 (336)	37 (37)			4 (1)	533 (506)
9	平成 30年	5 (1)	1 (1)	2	24 (25)	8 (8)	1 (1)	78 (71)		4 (2)	343 (322)	32 (32)			4	502 (463)
	平成 29年	1 (1)			42 (46)	6 (6)	3 (3)	81 (77)		5 (5)	278 (264)	36 (36)			4	456 (438)
10	平成 30年	2			42 (45)	2 (2)	2 (2)	75 (73)	1 (2)	1 (1)	302 (283)	19 (19)			1	447 (427)
	平成 29年	1			25 (23)	5 (5)	2 (2)	57 (57)		2	319 (307)	29 (29)			6	446 (423)
11	平成 30年	1 (1)			25 (23)	4 (4)		54 (50)		3 (3)	292 (272)	38 (38)	1		6 (2)	424 (393)
	平成 29年	2		1 (1)	27 (28)	3 (2)	1 (1)	86 (84)		3 (3)	305 (286)	30 (30)			2 (1)	460 (436)
12	平成 30年	1		1	28 (23)	5 (5)	2 (2)	83 (79)		4 (4)	368 (347)	36 (37)	1		5 (1)	534 (499)
	平成 29年				47 (43)	3 (3)	3 (3)	72 (72)	1	3 (2)	376 (347)	44 (44)			5	554 (514)
平 成 30年計		32 (9)	1 (1)	5 (1)	331 (325)	49 (50)	29 (29)	904 (856)	14 (13)	40 (31)	4,105 (3,877)	398 (398)	6		60 (6)	5,974 (5,596)
平 成 29年計		33 (8)		10 (6)	354 (357)	43 (42)	35 (35)	826 (801)	7 (7)	43 (27)	3,812 (3,606)	411 (411)			44 (6)	5,618 (5,306)
増減		△ 1 (1)	1 (1)	△ 5 (△5)	△ 23 (△32)	6 (8)	△ 6 (△6)	78 (55)	7 (6)	△ 3 (4)	293 (271)	△ 13 (△13)	6		16	356 (290)

※( )は搬送人員です。

2 市町別の救急出動件数及び搬送人員

(件、人)

市町別	年別	救急事故種別												合計		
		火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送		資材輸送	その他
酒田 市	平成30年	25 (7)		4	254 (251)	33 (34)	21 (21)	685 (640)	13 (11)	34 (25)	3,015 (2,829)	337 (337)	2		53 (6)	4,476 (4,161)
	平成29年	20 (7)		5 (4)	278 (279)	35 (35)	29 (29)	628 (609)	5 (6)	29 (20)	2,801 (2,651)	352 (352)			40 (5)	4,222 (3,997)
庄内 町	平成30年	4 (1)	1 (1)		38 (35)	12 (12)	6 (6)	118 (116)		3 (3)	638 (616)	47 (47)	2		3	872 (837)
	平成29年	9 (1)		1	42 (45)	3 (3)	6 (6)	114 (112)	2 (1)	8 (5)	613 (589)	43 (43)			2 (1)	843 (806)
遊佐 町	平成30年	3 (1)		1 (1)	39 (39)	4 (4)	2 (2)	100 (99)	1 (2)	3 (3)	451 (431)	14 (14)	2		4	624 (596)
	平成29年	4		4 (2)	34 (33)	5 (4)		84 (80)		5 (1)	397 (365)	16 (16)			2	551 (501)
管外	平成30年							1 (1)			1 (1)					2 (2)
	平成29年									1 (1)	1 (1)					2 (2)
平成30年計		32 (9)	1 (1)	5 (1)	331 (325)	49 (50)	29 (29)	904 (856)	14 (13)	40 (31)	4,105 (3,877)	398 (398)	6		60 (6)	5,974 (5,596)
平成29年計		33 (8)		10 (6)	354 (357)	43 (42)	35 (35)	826 (801)	7 (7)	43 (27)	3,812 (3,606)	411 (411)			44 (6)	5,618 (5,306)
増減		△1 (1)	1 (1)	△5 (△5)	△23 (△32)	6 (8)	△6 (△6)	78 (55)	7 (6)	△3 (4)	293 (271)	△13 (△13)	6		16	356 (290)

※ ( )は搬送人員です。

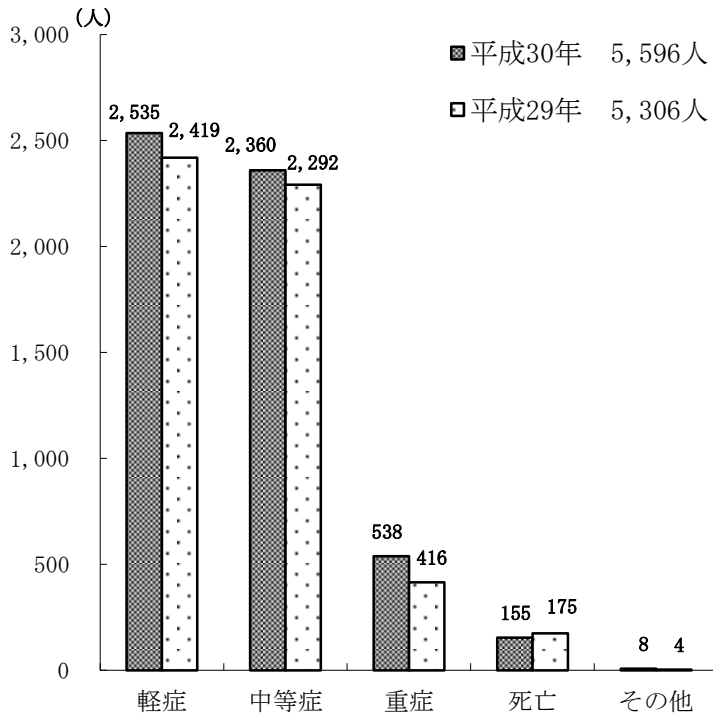
### 3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員

(人)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 生後28日以内											7	7
乳 幼 児 生後29日以上満7歳未満				9			26			66	1	102
少 年 満7歳以上満18歳未満				19		20	14	2		55	3	113
成 人 満18歳以上満65歳未満	7	1	1	179	38	8	138	11	20	798	111	1,312
高 齢 者 満65歳以上	2			118	12	1	678		11	2,958	282	4,062
平成30年計	9	1	1	325	50	29	856	13	31	3,877	404	5,596
平成29年計	8		6	357	42	35	801	7	27	3,606	417	5,306
増 減	1	1	△5	△32	8	△6	55	6	4	271	△13	290

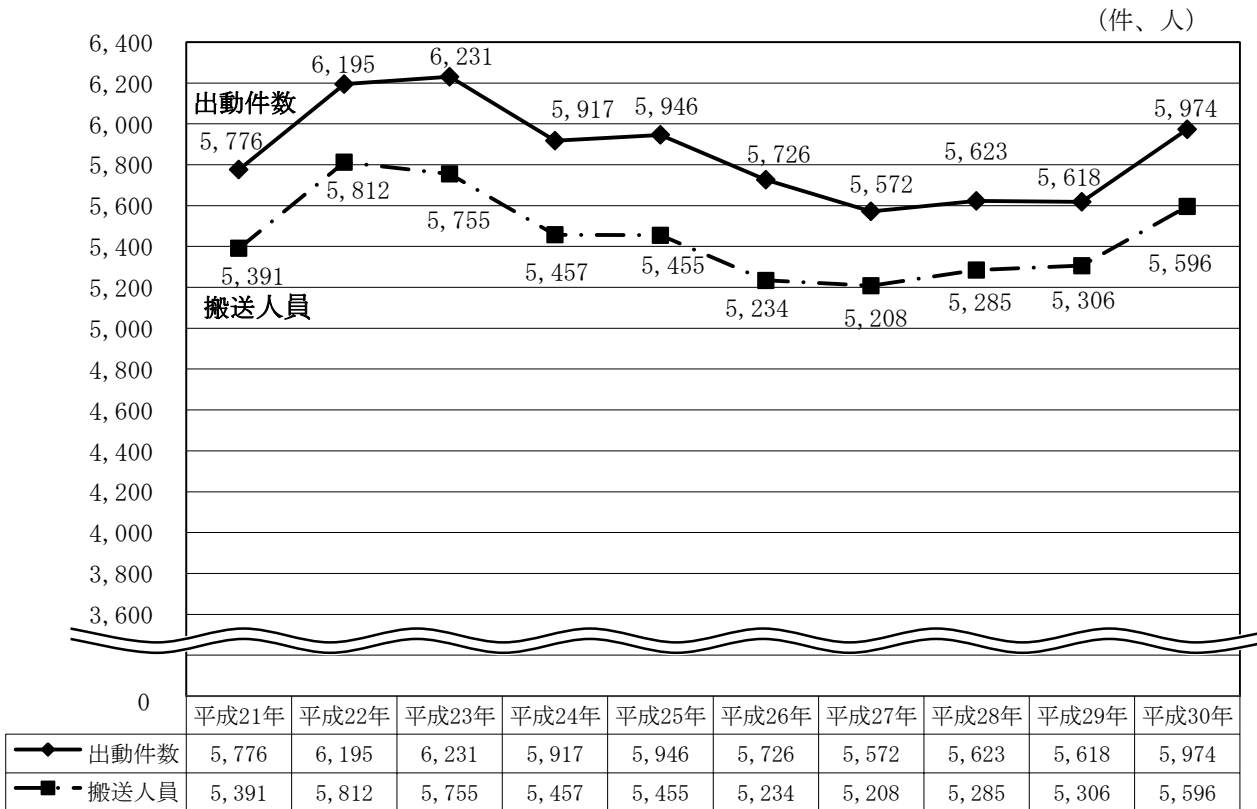
※ 事故種別の「その他」とは、「転院搬送」、「医師搬送」、「資器材輸送」及び「その他(分類不能のもの)」です。

#### 4 重症度別の搬送人員



傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき次により分類する	
軽症	入院加療を必要としないもの
中等症	入院加療を必要とするもので重症に至らないもの
重症	三週間以上入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において、死亡が確認されたもの
その他	医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

#### 5 救急出動件数及び搬送人員の推移



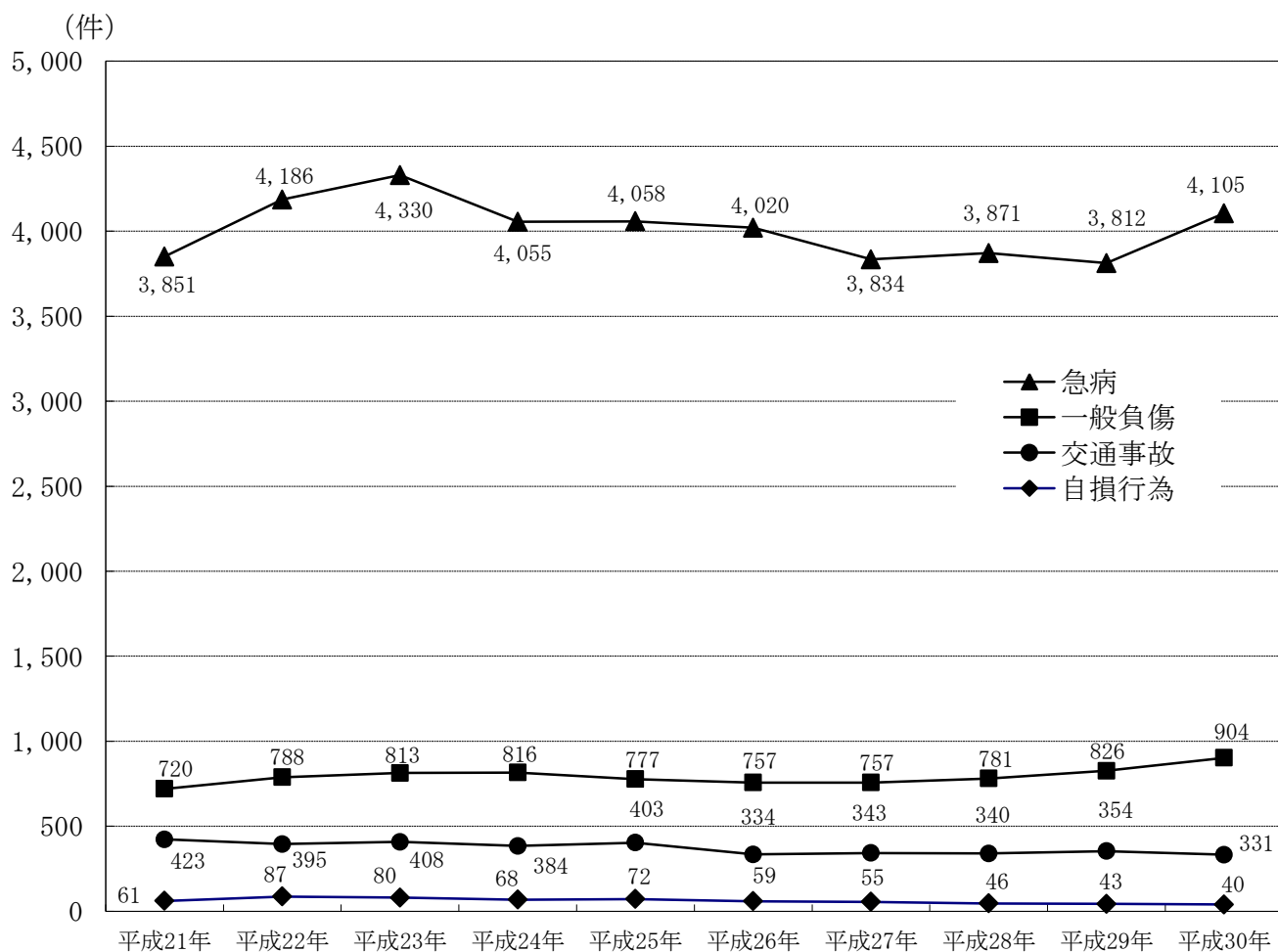


## 6 事故種別ごとの出動件数の推移

(件)

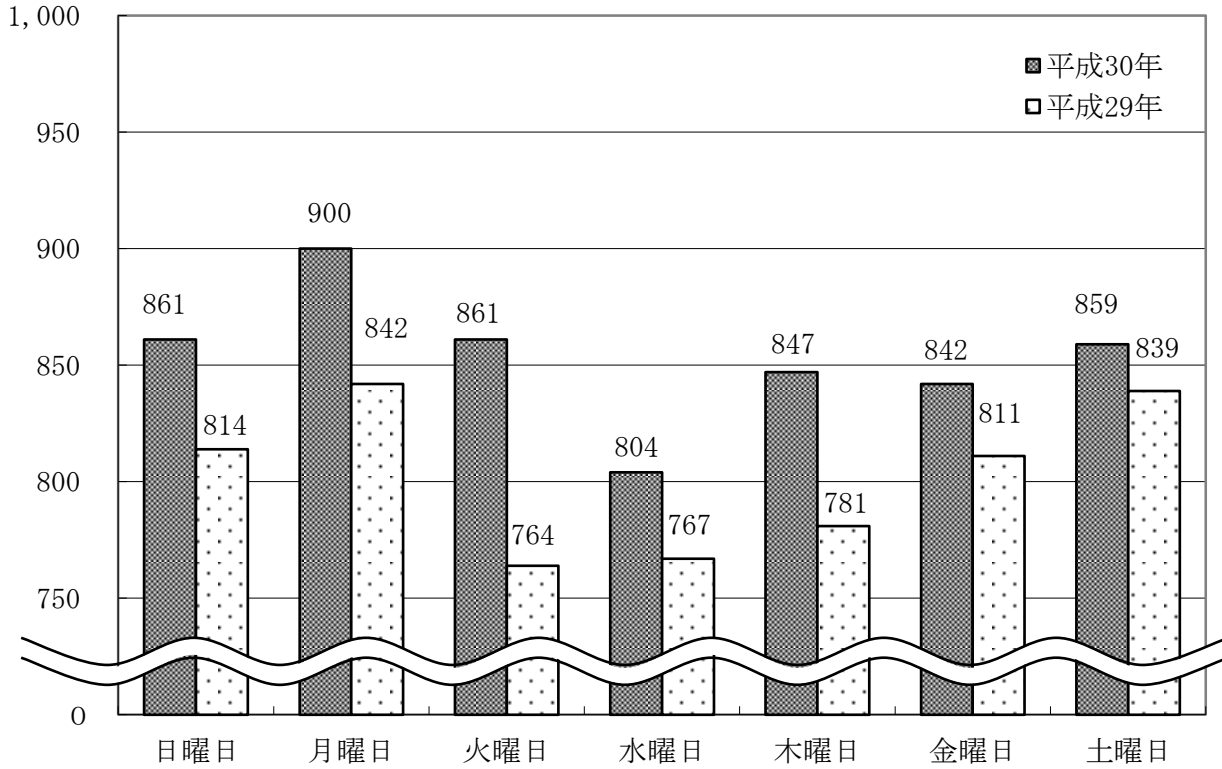
事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材送	その他	
平成21年	39	2	3	423	44	28	720	15	61	3,851	556	1		33	5,776
平成22年	37		6	395	33	47	788	15	87	4,186	576			25	6,195
平成23年	26	1	7	408	37	52	813	16	80	4,330	394	2	1	64	6,231
平成24年	32	3	3	384	57	29	816	4	68	4,055	394	2		70	5,917
平成25年	25		7	403	41	41	777	17	72	4,058	415	4		86	5,946
平成26年	42		6	334	32	39	757	13	59	4,020	346	7		71	5,726
平成27年	28		4	343	52	45	757	14	55	3,834	375	4		61	5,572
平成28年	27		7	340	45	44	781	9	46	3,871	393	2		58	5,623
平成29年	33		10	354	43	35	826	7	43	3,812	411			44	5,618
平成30年	32	1	5	331	49	29	904	14	40	4,105	398	6		60	5,974

## 7 主な事故種別の推移



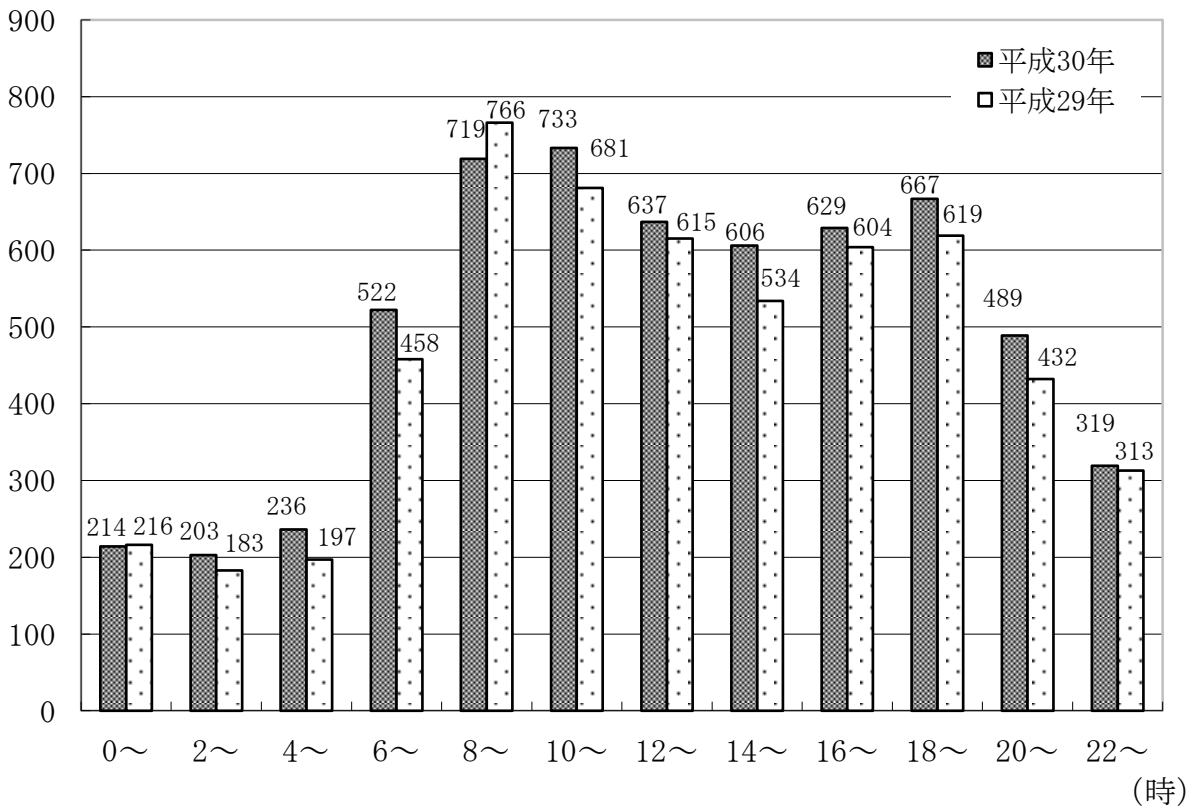
8 曜日別の出動件数

(件)



9 覚知時刻別の出動件数

(件)



10 現場到着所要時間別の出動件数

(件)

事故 種別・年別		時間別					計	平均時間
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	平成30年	23	320	2,828	901	33	4,105	平成29年 8分30秒      平成28年 8分35秒
	平成29年	27	299	2,548	912	26	3,812	
一般負傷	平成30年	7	64	609	206	18	904	
	平成29年	2	50	544	218	12	826	
交通事故	平成30年	7	15	182	110	17	331	
	平成29年	2	24	208	106	14	354	
上記以外	平成30年	14	100	386	110	24	634	
	平成29年	23	82	392	109	20	626	
計	平成30年	51	499	4,005	1,327	92	5,974	
	平成29年	54	455	3,692	1,345	72	5,618	
比率	平成30年	0.9%	8.4%	67.0%	22.2%	1.5%	100%	
	平成29年	1.0%	8.1%	65.7%	23.9%	1.3%	100%	

※ 救急出動で途中引き揚げした場合は、引き揚げ時刻を現場到着時刻としています。

11 収容所要時間別の搬送人員

(人)

事故 種別・年別		時間別					計	
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満		120分以上
急病	平成30年		69	1,336	2,362	109	1	3,877
	平成29年	1	66	1,302	2,133	103	1	3,606
一般負傷	平成30年		15	263	533	45		856
	平成29年		18	248	491	43	1	801
交通事故	平成30年		3	87	210	24	1	325
	平成29年		5	97	239	15	1	357
上記以外	平成30年		15	248	250	16	9	538
	平成29年		11	259	236	19	17	542
計	平成30年		102	1,934	3,355	194	11	5,596
	平成29年	1	100	1,906	3,099	180	20	5,306
比率	平成30年		1.8%	34.6%	60.0%	3.5%	0.2%	100%
	平成29年	0.0%	1.9%	35.9%	58.4%	3.4%	0.4%	100%

※ 比率の単位未満は、四捨五入してあるため、合計数値が一致しない場合があります。

## 12 医療機関別の搬送人員

(人)

搬送先 月別・年別		管内					管外			医療機関 以外	計
		告示医療機関					鶴岡市	山形市	山形市 鶴岡市 以外		
		日本海 総合病院	庄内 余目病院	市立 八幡病院	本間 病院	非告示の 医療機関					
1月	平成30年	318	112	4	53	11	5	3		506	
	平成29年	273	100	17	53	13	6		1	463	
2月	平成30年	323	95	2	49	18	3	2		492	
	平成29年	252	89	15	31	16	4	2		409	
3月	平成30年	318	96	2	32	8	2		1	459	
	平成29年	245	96	11	31	7	17	1	1	409	
4月	平成30年	301	92		41	8	1		1	444	
	平成29年	248	74	23	37	11	4	2		399	
5月	平成30年	283	92		59	13	5	1		453	
	平成29年	240	83	17	45	10	6	1		402	
6月	平成30年	278	95		58	9	6			446	
	平成29年	277	76	16	40	12	8	1	1	431	
7月	平成30年	311	95		50	17	8	1		482	
	平成29年	283	93	18	54	18	8	1	1	476	
8月	平成30年	330	113		71	11	7			532	
	平成29年	295	97	25	63	12	14			506	
9月	平成30年	303	94		52	12	1	1		463	
	平成29年	288	81	23	37	8	1			438	
10月	平成30年	268	95		47	15	2			427	
	平成29年	285	71	16	34	13	4			423	
11月	平成30年	264	72		41	11	4	1		393	
	平成29年	282	69	25	35	15	9		1	436	
12月	平成30年	346	89		46	10	7		1	499	
	平成29年	324	104	17	48	9	9	1	2	514	
計	平成30年	3,643	1,140	8	599	143	51	9	3	5,596	
	平成29年	3,292	1,033	223	508	144	90	9	7	5,306	
比率	平成30年	65.1%	20.4%	0.1%	10.7%	2.5%	0.9%	0.2%	0.1%	100%	
	平成29年	62.0%	19.5%	4.2%	9.6%	2.7%	1.7%	0.2%	0.1%	100%	

13 救急隊員が行った応急処置

(人、回)

年別 種別 処置項目	平成30年					平成29年					増減
	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
人員	3,867	321	851	536	5,575	3,601	357	796	525	5,279	296
止血	15	16	79	18	128	12	14	72	20	118	10
固定	20	140	113	30	303	31	184	124	37	376	△ 73
心肺蘇生	154	4	22	15	195	167	2	20	15	204	△ 9
うち自動											
人工呼吸のみ	17	1		2	20	19				19	1
胸骨圧迫											
うち自動											
酸素吸入	1,082	31	72	136	1,321	1,006	25	57	141	1,229	92
気道確保	295	6	33	25	359	293	3	24	23	343	16
うち※1	6		1		7	2		1	1	4	3
うち※2	3				3	6		1		7	△ 4
うち※3	112	2	17	11	142	119	1	11	10	141	1
うち※4	2	1	1	1	5	1	1	2		4	1
保温	672	48	106	85	911	607	48	132	73	860	51
被覆	15	38	129	21	203	9	41	143	27	220	△ 17
在宅療法継続	49		7		56	40		3	3	46	10
うち※A	1				1	2			1	3	△ 2
うち※B	5		2		7	4				4	3
うち※C	43		5		48	34		3	2	39	9
ショックパンツ											
除細動	17	1	2	1	21	12			3	15	6
静脈路確保	173	8	18	15	214	183	1	10	16	210	4
心肺停止前	88	5	3	4	100	95	1	3	5	104	△ 4
心肺停止後	85	3	15	11	114	88		7	11	106	8
薬剤投与	42	3	6	4	55	32		2	4	38	17
血糖測定	359		9	17	385	341	2	15	9	367	18
ブドウ糖投与	15				15	27				27	△ 12
エピペン投与											
血圧測定	3,694	306	812	503	5,315	3,403	348	761	480	4,992	323
心音呼吸音聴取	1,023	70	91	93	1,277	919	105	84	84	1,192	85
血中酸素飽和度測定	3,713	312	817	511	5,353	3,428	345	761	500	5,034	319
心電図測定	2,447	63	147	234	2,891	2,422	83	173	218	2,896	△ 5
その他	1,452	99	300	173	2,024	1,153	67	231	143	1,594	430
計	15,254	1,146	2,763	1,883	21,046	14,104	1,268	2,612	1,796	19,780	1,266

※ 気道確保：※1 経鼻エアウェイ ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去 ※3 LT等処置 ※4 気管挿管処置  
 ※ 在宅療法継続：※A 点滴処置が施された者 ※B 気管切開、人工肛門等の外瘻が施された者 ※C A・B以外の者  
 ※ 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、対象人員と処置項目の計の数とは一致しない場合があります。

14 消防職員の救急隊員資格の取得状況

(人)

資格別 年別	合 計	救急救命士	救急科 (旧救急標準課程含)	旧救急Ⅱ課程	旧救急Ⅰ課程
平成26年	201	42	97	60	2
平成27年	198	44	103	49	2
平成28年	200	49	113	37	1
平成29年	207	48	129	29	1
平成30年	212	50	134	27	1

15 特定行為の実施状況

(件、人)

区分 年別	心肺蘇生法 実施人員	除細動 実施人員	薬剤投与 アドレナリン 実施人員 ①	気道確保実施		静脈路確保 実施人員 ③	心肺停止後 特定行為 処置件数 ①+②+③	心肺停止前 静脈路確保 実施人員 ④	心肺停止前 ブドウ糖投与 実施人員 ⑤	特定行為 延べ件数 ①+②+③ +④+⑤
				②	うち 気管挿管					
平成26年	220	23	38	164	9	121	323			
平成27年	189	19	45	134	4	103	282	60	14	356
平成28年	211	18	41	156	7	102	299	92	30	421
平成29年	211	15	38	145	4	106	289	104	27	420
平成30年	195	21	55	147	5	114	316	100	15	431

※ 心肺蘇生法実施人員とは、救急隊が心肺蘇生又は胸骨圧迫のみ、人工呼吸のみのうちいずれかを実施して搬送した人数です。

※ 除細動は、平成15年4月から医師の具体的指示を必要としないため、特定行為から除外されています。

※ 心肺停止前の特定行為は平成27年1月から認められた行為です。

16 応急手当普及啓発活動の実施状況

(回、人)

区分 月別	救命入門コース		普通救命講習 I		普通救命講習 II		普通救命講習 III		上級救命講習		普及員講習		普及員再講習		指導員講習		指導員再講習		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1月	回数	2	2																	4
	人数	34	41																	75
2月	回数	4	5					1												10
	人数	54	107					33												194
3月	回数	5	2																	7
	人数	147	19																	166
4月	回数	1	2																	3
	人数	20	76																	96
5月	回数	6	3																	9
	人数	117	23																	140
6月	回数	14	8				4													26
	人数	400	170				54													624
7月	回数	12	5	1	1						1							1		21
	人数	267	80	12	24						24							2		409
8月	回数	7	2					1			2							2		14
	人数	160	33					17			47							2		259
9月	回数	2	9								2									13
	人数	49	144								16									209
10月	回数	3	2																	5
	人数	64	33																	97
11月	回数	7	6																	13
	人数	370	127																	497
12月	回数	1	7											1						9
	人数	18	127											11						156
30年	回数	64	53	1	5	2	2	2	2	3	1	3								134
	人数	1,700	980	12	78	50	16	71	11	4										2,922
29年	回数	76	74	3	7	1	1	3	1	3										169
	人数	1,960	1,578	56	104	29	11	63	18	7										3,826
増減	回数	△ 12	△ 21	△ 2	△ 2	1	1													△ 35
	人数	△ 260	△ 598	△ 44	△ 26	21	5	8	△ 7	△ 3										△ 904

- ※ 救命入門コース (90分) : 住民に対する応急手当の導入講習です。
- 普通救命講習 I (3時間) : 住民に対する標準的な講習です。(主に成人に対する心肺蘇生法)
- 普通救命講習 II (4時間) : 住民に対する標準的な講習です。(AEDの一定頻度使用者が対象の心肺蘇生法)
- 普通救命講習 III (3時間) : 住民に対する標準的な講習です。(主に小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法)
- 上級救命講習 (8時間) : 普通救命講習より高度な講習です。
- 普及員講習 (24時間) : 主として事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対し、普通救命講習の指導に従事する者の講習です。
- 指導員講習 (8時間) : 当広域行政組合の行う普通救命講習又は上級救命講習の指導に従事する者の講習です。

17 消防隊等による救急活動支援の状況

(1) 月別

(件)

(2) 署別

(件)

月別	年別	種別						合計	署別	年別	種別						合計
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他				C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	へ り 支 援	そ の 他	
1	平成30年	13	1	4	14	1	17	50	消防署	平成30年	42	15	6	97	4	67	231
	平成29年	8	1		10		17	36		平成29年	37	16	10	64	2	72	201
2	平成30年	7	2	1	5		15	30	東分署	平成30年	3	1		2		3	9
	平成29年	8	1		15		17	41		平成29年	1			1		3	5
3	平成30年	10	3	1	10		12	36	西分署	平成30年	20	1	4	23		34	82
	平成29年	7	1	4	13		20	45		平成29年	17	4	3	27		34	85
4	平成30年	8	2	4	6		16	36	南分署	平成30年	1	3					4
	平成29年	8	1	2	9	2	17	39		平成29年	3	1		4		5	13
5	平成30年	4		2	10		17	33	立川分署	平成30年							
	平成29年	9			7	1	17	34		平成29年							
6	平成30年	3	1	1	21		12	38	余目分署	平成30年	18	4	3	12		17	54
	平成29年	7	3	2	13		12	37		平成29年	22	1	1	13		29	66
7	平成30年	7	2		16		14	39	遊佐分署	平成30年	15	4	4	8		34	65
	平成29年	4	4		9		15	32		平成29年	15	5	5	10	1	33	69
8	平成30年	5	1		16		11	33	八幡分署	平成30年							
	平成29年	8	3	2	14		14	41		平成29年						1	1
9	平成30年	6	2	2	13	1	15	39	松山分署	平成30年		1					1
	平成29年	8	5	3	10		15	41		平成29年	1					1	2
10	平成30年	7	8		11		10	36	平田分署	平成30年							
	平成29年	10	2	2	7	1	10	32		平成29年	1		1		1		3
11	平成30年	15	3	2	7	2	5	34	平成30年		99	29	17	142	4	155	446
	平成29年	8		3	5		10	26	平成29年		97	27	20	119	4	178	445
12	平成30年	14	4		13		11	42	増減		2	2	△3	23		△23	1
	平成29年	12	6	2	7		14	41									
平成30年		99	29	17	142	4	155	446									
平成29年		97	27	20	119	4	178	445									
増減		2	2	△3	23		△23	1									

※ 救急活動支援（PA連携）とは、消防隊や救助隊が現場に出動し、救急隊の処置や搬送等を支援したり、交通事故現場において、救急隊の安全確保のための支援活動のことです。

※ その他とは、搬送困難、加害、傷病者多数などの支援活動のことです。



18 事故種別救助活動の状況

(件、人)

事故種別		年 別	平 成 3 0 年			平 成 2 9 年		
			出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
火 災	建 物	1	1	2	2	2	1	
	建 物 以 外	1	1	1	1	1		
交 通 事 故		37	15	16	23	16	19	
水 難 事 故		5	3	3	5	4	4	
風 水 害 等 自 然 災 害								
機 械 に よ る 事 故		2	1	1	1			
建 物 等 に よ る 事 故		6	5	5	7	5	5	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故								
破 裂 事 故								
そ の 他 の 事 故	山 岳 事 故	5	5	5	10	9	8	
	そ の 他	7	6	6	7	6	7	
合 計		64	37	39	56	43	44	

19 月別の救助出動の状況

(件、人)

月別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自然 水災害等	機よる 械事に故	建よる 物等に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		その 他
1	平成30年			3 (1)				1				2 (2)	6 (3)
	平成29年			1 (1)				1 (1)					2 (2)
2	平成30年			3 (1)	1 (1)			1 (1)					5 (3)
	平成29年	1		1 (1)									2 (1)
3	平成30年			2 (2)				1 (1)					3 (3)
	平成29年				1 (1)			1 (1)				2 (1)	4 (3)
4	平成30年			1								3 (2)	4 (2)
	平成29年							3 (2)					3 (2)
5	平成30年	1 (2)	1 (1)	4 (2)									6 (5)
	平成29年			2 (4)							2 (2)	1 (1)	5 (7)
6	平成30年			4 (1)				1 (1)					5 (2)
	平成29年			2 (2)	1 (1)								3 (3)
7	平成30年			2 (1)			1 (1)	2 (2)			2 (2)		7 (6)
	平成29年	1 (1)		3 (3)	3 (2)						2 (2)	1 (1)	10 (9)
8	平成30年			2 (3)	1						1 (1)	2 (2)	6 (6)
	平成29年		1	4 (2)							4 (2)		9 (4)
9	平成30年			4 (2)	1						1 (1)		6 (3)
	平成29年			3 (2)							2 (2)	1 (1)	6 (5)
10	平成30年			2							1 (1)		3 (1)
	平成29年			2 (2)			1	1 (1)				1 (1)	5 (4)
11	平成30年			4 (1)	1 (1)		1						6 (2)
	平成29年			3 (1)								1 (2)	4 (3)
12	平成30年			6 (2)	1 (1)								7 (3)
	平成29年			2 (1)				1					3 (1)
平成30年計		1 (2)	1 (1)	37 (16)	5 (3)		2 (1)	6 (5)			5 (5)	7 (6)	64 (39)
平成29年計		2 (1)	1	23 (19)	5 (4)		1	7 (5)			10 (8)	7 (7)	56 (44)

※ ( )内は救助人員です。

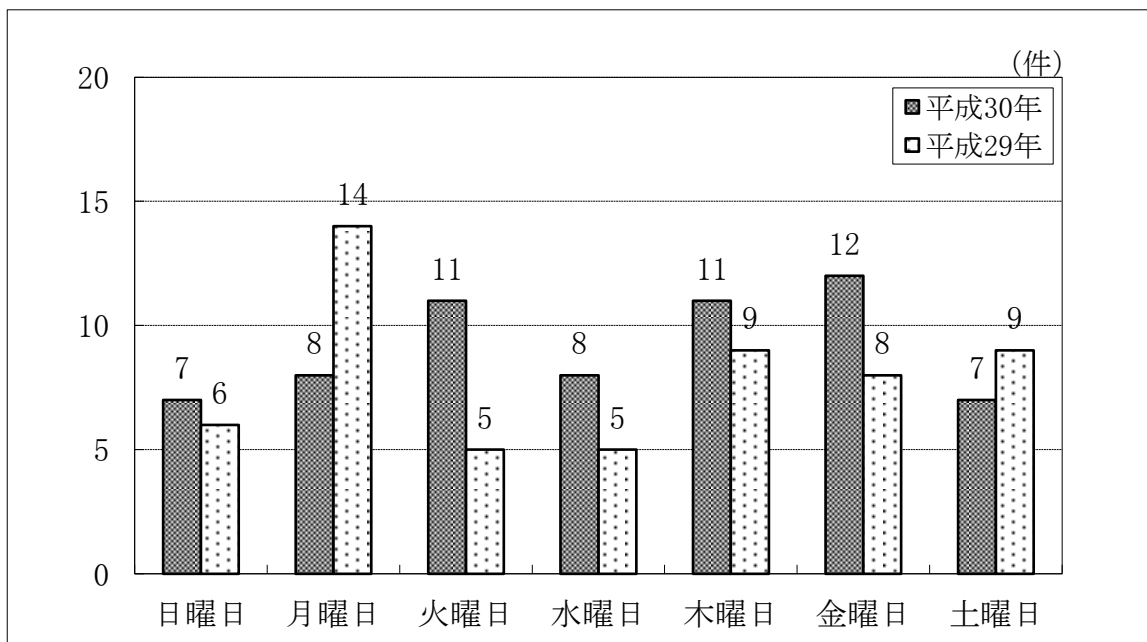
20 市町別の救助出動の状況

(件、人)

市町別	年別	救助事故種別										合計	
		火災		交通事故	水難事故	風自 水自然 害災 等害	機よ る事 に故	建よ る事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	その他の事故		
		建 物	建以 物外								山事 岳故		そ の 他
酒田市	平成30年	1 (2)		30 (13)	3 (1)		1 (1)	6 (5)				6 (5)	47 (27)
	平成29年	2 (1)	1	16 (11)	3 (3)		1	7 (5)			1 (1)	5 (5)	36 (26)
庄内町	平成30年		1 (1)	2 (1)									3 (2)
	平成29年			4 (4)	1							1 (1)	6 (5)
遊佐町	平成30年			5 (2)	2 (2)		1				5 (5)	1 (1)	14 (10)
	平成29年			3 (4)	1 (1)						9 (7)	1 (1)	14 (13)
管外	平成30年												
	平成29年												
平成30年計		1 (2)	1 (1)	37 (16)	5 (3)		2 (1)	6 (5)			5 (5)	7 (6)	64 (39)
平成29年計		2 (1)	1	23 (19)	5 (4)		1	7 (5)			10 (8)	7 (7)	56 (44)
増減		△1 (1)	(1)	14 (△3)	(△1)		1 (1)	△1			△5 (△3)	(△1)	8 (△5)

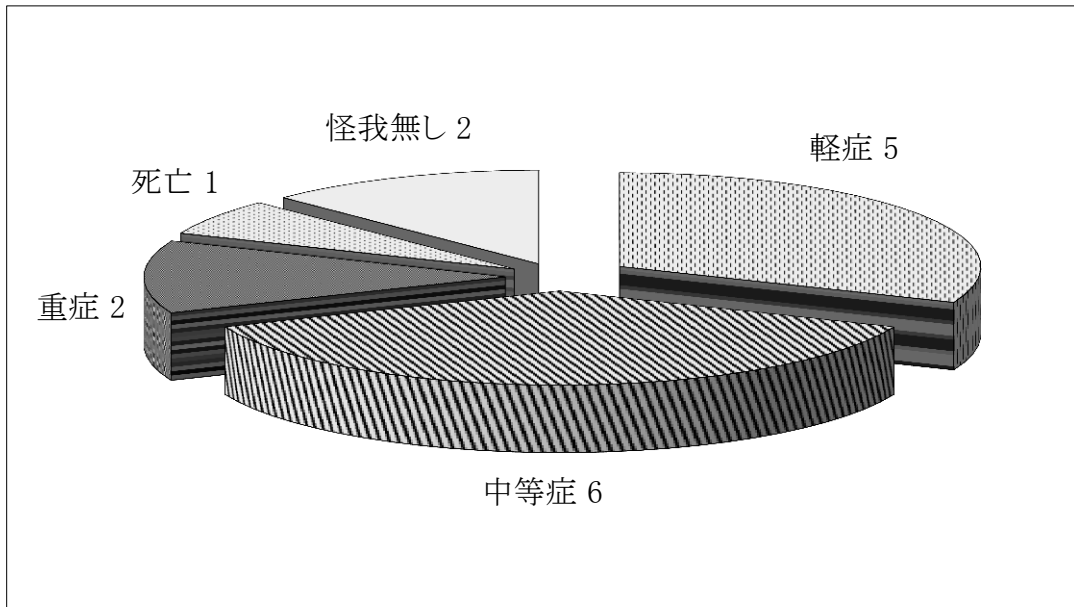
※ ( )内は救助人員です。

21 曜日別救助出動の状況



22 交通事故における要救助者の重症度の状況

(人)



23 組合管内へのヘリコプター出動状況

(人)

ヘリコプター種別	年別	出動区分						計	救助人員 (搬送人員)
		救急	救助	山岳救助	山岳遭難	水難救助	その他		
山形県防災ヘリコプター	平成30年	1		2	3			6	3
	平成29年			4		2		6	3
他県の防災ヘリコプター	平成30年								
	平成29年			1				1	1
山形県ドクターヘリコプター	平成30年	15						15	12
	平成29年	12						12	5
他県のドクターヘリコプター	平成30年								
	平成29年	1						1	1
他機関	山形県警ヘリコプター	平成30年			2	2		4	2
		平成29年			1		1	2	2
	海上保安庁ヘリコプター	平成30年	1					1	1
		平成29年							
	自衛隊ヘリコプター	平成30年							
		平成29年							
平成30年計		17		4	5			26	18
平成29年計		13		6		2	1	22	12
増減		4		△ 2	5	△ 2	△ 1	4	6

24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）

山形県指導会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
26	H26.6.27	引揚救助 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞
27	H27.6.30	ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞
28	H28.6.30	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞
29	H29.6.29	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞
30	H30.6.28	引揚救助 ほふく救出 ロープブリッジ救出 ロープブリッジ渡過	入賞 入賞

東北地区支部消防救助技術指導会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
43	H26.7.24	引揚救助	
44	H27.7.30	出場なし	
45	H28.7.29	引揚救助	入賞
46	H29.7.19	出場なし	
47	H30.7.25	ロープブリッジ救出	入賞

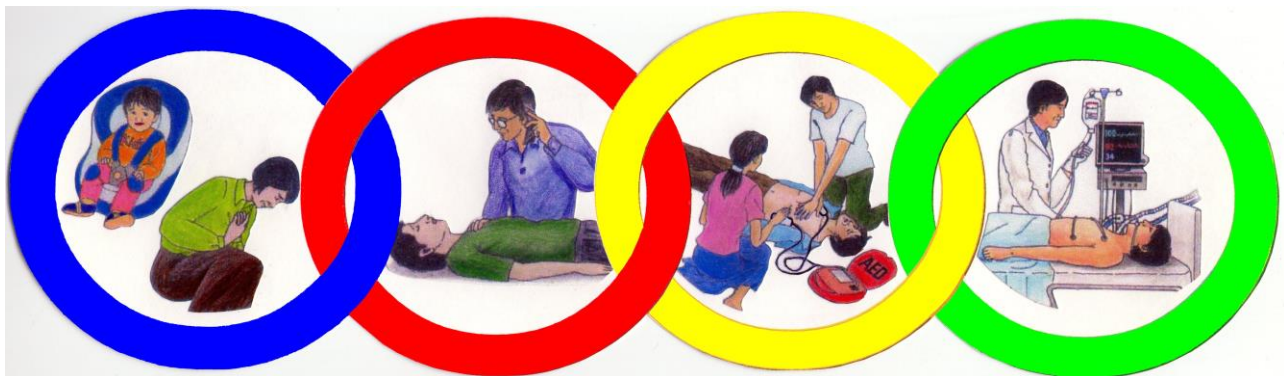
---

---

# 救命の連鎖

---

---



◎心肺停止の予防

◎早期認識と通報

◎一次救命処置

◎二次救命処置と  
心拍再開後の集中治療